

# 松本大学大学院



Master  
Course

## 健康科学研究科

Doctor  
Course



[ 博士 **前期** 課程 ・ 博士 **後期** 課程 ]



博士「後期課程」が加わり、研究者への道が今、開ける。



## 栄養・運動・こころから「健康づくり」を探究し、成果と人材を社会へ還元

健康科学研究科は、栄養分野やスポーツ分野の応用・実践的な科学を基盤に、関連する周辺学術分野と融和した健康科学の学術研究教育活動を通して、「栄養」「運動」および「こころ」の面から「健康づくり」を探究し、その成果を社会に還元することで、人々の健康の維持・増進、生活の質(QOL)の向上、地域社会の活性化などに寄与できる専門性の高い指導的立場の人材を育成します。また、信州という地域特性を踏まえ、高度専門職業人として健康科学の実践・発展に貢献する人材、今後さらに重要性が増す健康科学の研究技術者・教育者の養成を目指し、管理栄養士・健康運動指導士などの有資格者だけでなく、他学部出身者および社会人の受け入れも積極的に行っています。

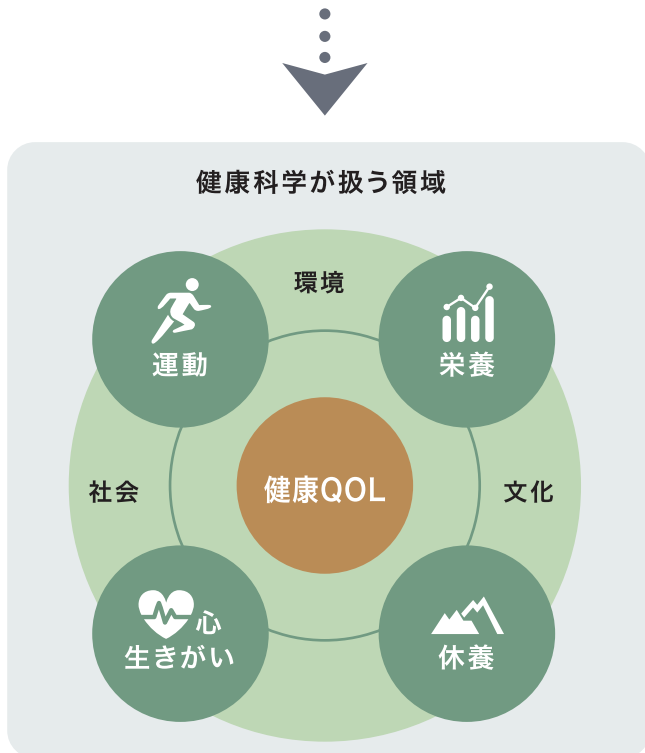
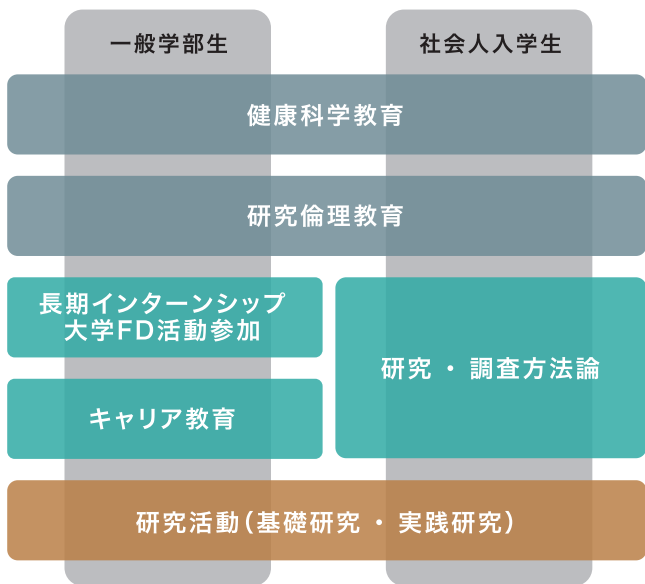
研究科長 山田 一哉



人々の健康の維持・増進に関わる  
健康科学を研究し、  
社会に還元できる指導的人材を育成



松本大学大学院健康科学研究科



博士前期課程 / Master Course

教育研究上の理念・目的

「栄養科学」並びに「スポーツ科学」を基盤とし、関連する周辺学術分野と融和した「健康科学」の学術研究教育活動を行い、「健康づくり」という視点から課題を科学的根拠に基づいて適切に把握し、優れた思考と確かな技術を駆使して解決できる専門性の高い指導的立場の人材を育成することを理念とします。

育成する人材

- 1 「栄養」の分野に関わる人が「運動」について、また、「運動」の分野に関わる人が「栄養」について専門性を高め、「健康科学」の面から総合的に地域や行政のプランニングやその推進等を指導できる人材
- 2 管理栄養士・栄養士・食品衛生管理者・食品衛生監視員などの「食と栄養」に関わる有資格者として、より高い専門性を備えたスキルアップした人材
- 3 健康運動指導士、健康運動実践指導者、レクリエーション・インストラクターなど「運動」に関わる有資格者としてスキルアップした人材
- 4 高い専門性をもつ、研究者、教育者を目指す人材

取得できる教員免許

高等学校教諭専修免許状(保健体育)	栄養教諭専修免許状
中学校教諭専修免許状(保健体育)	養護教諭専修免許状(申請中)

※ 本学で専修免許状を取得する場合には、既に一種免許状を取得している必要があります。

博士後期課程 / Doctor Course

教育研究上の理念・目的

健康科学分野において、研究者として自立して研究活動を行うことができる人材、又は、より高度な知識、技術等を修得し、基礎的・実践的課題の解決へ指導的役割を果たすことができる人材の育成を目的とします。

育成する人材

- 1 健康科学分野において、研究者として自立して研究活動を行うことができる人材
- 2 より高度な知識、技術等を修得し、基礎的・実践的課題の解決へ指導的役割を果たすことができる人材







## アドミッションポリシー

健康科学研究科博士前期課程では、以下の観点、項目に関心のある人材を受け入れることを基本としている。また、管理栄養士・栄養士養成施設、健康運動指導士・健康運動実践指導者養成施設などの大学の出身者だけでなく、短大卒で栄養士・管理栄養士としての実務経験者や周辺の健康科学に関わる学部を卒業した社会人も積極的に受け入れることにしている。

- 1 「栄養」や「運動」がいかに関わるかを科学的に分析し解決するために必要な知識・技術を身につけたい人
- 2 自然環境に恵まれた地域の特性を踏まえた上で高度専門職業人として健康科学の実践・発展に貢献したい人
- 3 健康科学の教育研究者を目指す人

## カリキュラムポリシー

### 1. 教育目標ならびに課程の編成・実施の方針

健康科学研究科博士前期課程は、つぎの者の養成を目標としている。

- 1 健康科学分野での指導的立場の人材
- 2 各種有資格者の高度化・専門化を図る高度専門職業人
- 3 優れた研究能力を有し、科学的に課題解決を図る研究者・教育者

そのために科目の領域として、「健康科学」領域に関する専門基礎科目を置いた上で、栄養と運動の各専門科目としてそれぞれ「栄養科学」領域と「スポーツ科学」領域を展開している。それぞれの領域では理論面に力点を置く「特論」と、実践・応用面に力点を置く「演習」とを適切に織り交ぜた科目構成を行っている。また、入学時に「健康科学」を強く認識させるために、全教員によるオムニバス形式である健康科学分野の「健康科学特論」を必修科目として配置している。

### 2. 教育内容

基本的にはそれぞれの科目担当者の自主的な内容作りに依拠しているが、研究科委員会で確認している。特別研究は、予め面談等で希望する研究内容に沿った教員の指導の下で行っている。

### 3. 教育方法

ゼミナール形式などの少人数教育を通じて、個々の院生にきめ細かい指導を行っている。

### 4. 評価

以上のような教育目標・内容・方法を設定し、院生の専門的知識・技術の向上に努めるとともに、成績評価についても厳格な基準を明示して判断している。さらに、2年間の成果を「修士論文」としてまとめ、最終試験と位置づける修士論文発表会にて発表し、研究科委員会にて合否を判断している。

## ディプロマポリシー

健康科学研究科博士前期課程では、大学院の使命・目的並びに理念を踏まえ、専門基礎科目・専門科目・特別研究から編成される修士課程教育を行い、取得単位上の修了要件を満たした上で、以下のいずれかに合致する能力を習得したと判断される院生に対し、修士(健康科学)の学位を授与する。

- 1 「健康科学」を修得し、「栄養」と「運動」についてどちらにも詳しく、これらの分野を統括して健康指導にあたることができる。
- 2 「栄養科学」や「スポーツ科学」の各分野において、深い専門性を身につけている。
- 3 「健康科学」を基礎とし、各専門分野の最先端の研究成果を自ら学び、かつ自ら研究を行うことにより、自らの力で生涯自己更新のできる力を身につけている。



## アドミッションポリシー

健康科学研究科博士後期課程では、信州の豊かな自然環境のもとで、健康科学分野において、より高度な知識、技術等を修得し、地域における基礎的・実践的課題の解決に指導的役割を果たすことができる、すなわち地域の実力の向上を目指す人材を育成する。そのために、以下のような能力や意欲を備えた人々を積極的に受け入れる。

- 「健康科学」に関わる諸課題を発掘し、高い専門性をもって評価・分析・解決することを希求する人
- より高度な専門職業人として「健康科学」の実践・発展に貢献したい人
- 「健康科学」の研究者・教育者を旨とする人

## カリキュラムポリシー

既設の博士前期課程の教育成果を引き継ぎつつ、博士後期課程のディプロマポリシーに示した人材を育成するために、下記のようなカリキュラムポリシーを設定し、体系的・段階的な教育課程を編成・実施する。

### 1. 教育目標ならびに課程の編成・実施の方針

健康科学研究科博士課程では、次の養成を目標とする。

- 1 健康科学分野におけるより高度な指導的立場の人材
- 2 各種有資格者の高度化・専門化を図る高度専門職業人
- 3 優れた研究能力を有し、科学的に課題解決を図る研究者・教育者

そのために、専門基礎科目として、健康科学分野の最先端の知識や課題を学修する「健康科学特講」と研究・教育分野での将来のキャリア形成に繋がる「研究教育キャリア特講」の2科目を必修科目として配置する。また、専門科目として、各教員の専門分野の最先端を学修する「健康科学演習」を選択科目として、特別研究として博士論文作成のための「博士特別研究」を必修科目として配置する。

### 2. 教育内容

基本的には各専門科目の担当者の自主的な内容づくりに依拠しているが、研究科委員会で内容を確認する。博士論文作成のための研究は、予め面談等で希望する研究内容に沿った教員の指導の下で行う。

### 3. 教育方法

ゼミナール形式などの少人数教育を通じて、個々の院生にきめ細かい指導を行う。

### 4. 評価

以上のような教育目標・内容・方法を設定し、院生の専門的知識・技術の向上に努めるとともに、成績評価にも厳格な基準を明示して判断する。さらに研究成果を博士論文としてまとめ、最終試験と位置づける博士論文発表会で発表し、最終的には研究科委員会において可否を判定する。

## ディプロマポリシー

健康科学研究科博士後期課程では、健康科学専攻の目的に則り、以下のいずれかに合致する知識と能力を十分に培ったと判断される院生に対し、博士(健康科学)の学位を授与する。

- 1 「健康科学」に関する的確な総合科学的思考力と想像力
- 2 「健康科学」の現場で生じる未知、あるいは未解決の課題を発掘・解決できる知識と能力
- 3 「健康科学」の分野の最先端の研究成果を自ら学び、かつ自ら研究を行い、自らの力で発信・実践できる力



## 山田 一哉

役職・職階：健康科学研究科長／教授  
所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 健康栄養学科

### 1. ホルモンや栄養素による遺伝子の発現制御機構 2. 発がんによる遺伝子の発現制御機構

私達の研究室では、「栄養素とホルモンによる遺伝子の発現制御」について、インスリン誘導性転写因子SHARP ファミリー遺伝子、インスリン遺伝子、糖新生酵素ホスホエノールピルビン酸カルボキシキナーゼ遺伝子、サーチュイン遺伝子等に注目して血糖調節・生活習慣・長寿・糖尿病発症との関わりについて、また、「癌抑制における遺伝子の発現制御」について、ZHFX ファミリー転写抑制因子遺伝子、SHARP ファミリー遺伝子、解糖系酵素遺伝子、細胞増殖関連遺伝子に注目して、肝発癌や細胞増殖抑制との関わりについて研究を行っています。



## 青木 雄次

役職・職階：教授  
所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 健康栄養学科

### 健康長寿のためのアンチエイジング(抗加齢)医学

健康長寿やアンチエイジングに対して、日常生活において基本的な重要なことは、食事・運動・睡眠・ストレスの自己管理となります。これらに関連した具体的な研究テーマは、①「地域の百寿者研究」 ②「がんと食習慣に関する研究」 ③「健康長寿食またはアンチエイジングメニューに関する研究」であり、少しずつ成果が得られてきています。世界の基礎研究から臨床研究までを探索し、トランスレーショナル医療や先制医療につながる成果を、国内外に発信していきたいと考えています。

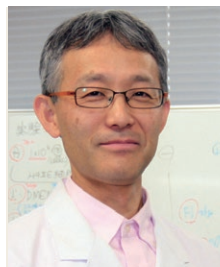


## 木藤 伸夫

役職・職階：人間健康学部長／教授  
所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 健康栄養学科

### 1. 微生物の有効活用 2. 食と寿命

私の研究室では、漬物から乳酸菌を分離し、有効に活用することをめざしています。分離した乳酸菌で豆乳ヨーグルトをつくと、シトルリンやオルニチンなどの有用アミノ酸が産生されることを明らかにしました。また、昆虫病原糸状菌が抗コウジカビ物質を産生することを発見し、活性物質の特徴を調べています。もう一つの研究テーマは、「食べ物と寿命の関係」です。モデル動物であるキロショウジョウバエを使い、不飽和脂肪酸がショウジョウバエの寿命を短くすることを明らかにしました。寿命が短くなるメカニズムを調べています。



## 高木 勝広

役職・職階：健康栄養学科長／教授  
所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 健康栄養学科

### インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析

糖尿病患者は厚生労働省が調査をするたびに増え続け、95%以上は2型糖尿病です。私どもの研究目的は、唯一の血糖低下ホルモンであるインスリンの作用を模倣する食品由来の低分子化合物を自然界から見つけ出し、分子生物学的手法を用いて作用機構を解明することです。様々な食品成分を検討し、血糖低下作用を示す最も有効な食品成分を同定し、糖尿病の発症予防に貢献する機能性食品を提示したいと考えています。さらに、様々なデータより血糖低下作用を示す化合物の構造上の特異性を同定し、将来的には糖尿病治療薬の創出にも貢献していきます。



## 根本 賢一

役職・職階：スポーツ健康学科長／教授  
所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 スポーツ健康学科

### 最近の研究テーマ

- ・体力の維持増加及び、生活習慣病の予防改善に効果的な運動トレーニング法、さらには、低体力者や運動習慣を持たない者を対象に、リゾート施設、アミューズメント施設、介護施設、自治体施設などを活用しながら、筋力や持久性体力などを効果的に改善するための、健康づくりのためのプログラムを開発しています。
- ・体力測定車及びタグフィットネスプログラムの活用が、働き盛り世代の心身面に及ぼす影響と、医療費と保険料などの抑制・削減に結びつのか効果を検証しています。



## 廣田 直子

役職・職階：教授  
所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 健康栄養学科

### 「実践栄養学」分野の研究

私たちの研究室では、人を対象とした「実践栄養学」分野の研究を進めています。研究テーマの一つは、実践栄養学や栄養疫学の発展に不可欠な食事調査手法に関する研究。もう一つの柱は、どのような働きかけを行えば、人々はより良い食生活を営むことができるのだろうかといった視点のテーマです。健康的というだけでなく、私たちの生活環境全体を見通した食べ方、つまり「食育」に関わる研究や、異世代間を含めた人と人とのネットワークの広がりや強さが食生活にどのように影響するのかといった点に着目した研究等に取り組んでいます。





## 弘田 量二

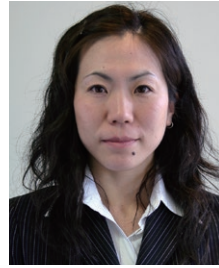
役職・職階：教授

所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 健康栄養学科

### 未病で治す一次予防

子どものゼミでは、病気を未然に防ぐ一次予防の研究に力を入れております。病気になる前に治す未病の取り組みが、ますます重要になってくるからです。ゼミ生たちのキラッと光る研究アイデアと実現させる研究プランで課題を解決してまいります。21年実施します。

1. 化繊過敏の方の睡眠の質を改善するナイトウェアの開発（企業との共同研究の話が進行中）
2. 住民調査データ(湯河原町study)から健康状態を統計手法を使って明らかにしよう。
3. 温養道回遊プランで心理改善効果を明らかにしよう。富山県で実施します。



## 福島 智子

役職・職階：教授

所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 健康栄養学科

### 生老病死を社会科学的な視点から考える

健康と病、医療を対象とした社会学(医療社会学)が研究のベースとなります。社会学では常識にとらわれず、普通とは少し違う角度から、さまざまな事象(終末期ケア・介護と看取り・インフォーマルケア・慢性病の経験・宗教と世俗化等)を、主には社会調査法(調査票調査やインタビュー)を用いて分析します。また、生きることに不可欠で、ときに人生を彩る食やスポーツを社会文化的側面から捉える研究も行っています。研究室に統一の研究テーマは設けておらず、各院生が追求したい課題について研究デザイン、研究方法を含めた指導を行います。



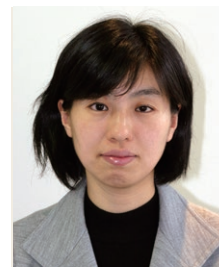
## 新井 喜代加

役職・職階：准教授

所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 スポーツ健康学科

### スポーツにおけるジェンダー平等の実現を目指して

誰もが性別に囚われず、自己の身体を解放し、能力を存分に発揮できるスポーツ界の実現を目指して、本研究室ではスポーツとジェンダー研究に取り組んでいます。具体的には、行政、政策、法律、政治などを扱う研究の手法を応用し、スポーツとジェンダーに関する政策や政策形成過程を分析の対象としています。また、性的マイノリティの人々のスポーツ参加機会の確保のための政策も研究対象としています。この他にも、スポーツ政策やスポーツと法に関わる研究課題と一緒に取り組んで下さる方をお待ちしております。



## 石原 三妃

役職・職階：准教授

所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 健康栄養学科

### 食感を中心としたおいしさの評価

食べ物のおいしさや食感を成立させる要因のうち、化学的要因である味、香りは、物理的要因である温度、テクスチャーなどと相互に影響しあっています。研究室では、ゼリーやパンなどの食品を調製する際に、添加する副素材が、食感を中心とした嗜好性に及ぼす影響を、客観的測定と主観的測定から検討しています。また、調理中の音に着目し、音が食感や水分量、外観などとの間にどのような関係があるかを調べています。

超高齢化が進む現代において、テクスチャーを中心とした”食べやすさ”が食品のおいしさにも大きく影響しています。



## 河野 史倫

役職・職階：准教授

所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 スポーツ健康学科

### 宇宙医学・生理学研究室

「衰えない筋肉をつくる」ことを目標とし、骨格筋に起こる遺伝子の記憶(エピジェネティクス)を解明する研究を進めています。速筋・遅筋では異なるエピジェネティクスが起こっていることや、慢性的な運動を行うと遺伝子構造が緩み運動に対する遺伝子の転写応答性が高まることをこれまでに明らかにしました。運動効果が上がりやすく、老化しにくい、さらには宇宙(微小重力や月・火星の低重力)のような極限的環境にも高い適応力を発揮する体質を人為的に獲得できるよう応用を目指します。



## 齊藤 茂

役職・職階：准教授

所 属：松本大学大学院 健康科学研究科  
人間健康学部 スポーツ健康学科

### “おもしろい研究”をしよう

「おもしろい研究」というのは、研究者自身がおもしろがっている研究である。(研究者自身がおもしろいと思っていないなら、その研究がおもしろいものになるはずがない。)そんなことは当たり前のはずなのだが、論文を読んでいて、『この著者は、こんなことが本当に“おもしろい”と思っているのかな』と言いたくなるものがあまりに多い(佐伯, 1986)

スポーツや教育といった現場に向かい、面接や行動観察等を通して、“人のこころのあるがまま”に迫ることができる、そんな「おもしろい研究」を行いたいと考えています。



## 社会人の方へ

本大学院の特長の一つは、入学者に占める社会人の割合が全国平均に比べて約3倍高いことです。社会人が働きながらも学びやすいように以下の環境を整えています。また、本学では短期大学等を卒業後、一定期間の実務経験等を経て業績がある方には、より積極的に大学院の門戸を開いています。

### 昼夜開講制

おもに平日の夜間(1限目18:00～、2限目19:40～)や土曜日、ならびに夏期・冬期・春期休暇期間中に集中講義を実施しています。

### 早期修了制度

「優れた研究業績」を上げたと認められる方は修業年限を短縮できます。

### 科目等履修制度

大学院入学前に大学院科目の履修を行った場合、入学後に単位を認定することができます(上限があります)。

### 長期履修制度

標準修業年限を超えて教育課程を認める制度です。

個人の事情にも柔軟に対応し、ゆったりとしたペースで授業を受けられ、研究できるので、仕事との両立に不安を感じている人も修学しやすくなります。授業料は、総額(博士前期課程2年分・博士後期課程3年分)を認められた修業年限(博士前期課程3年または4年・博士後期課程4年以上6年まで)に分割して納入することになり、年間の負担が軽減されます。

	標準修業年限	長期履修
博士前期課程	2年	3年または4年
博士後期課程	3年	4年～6年

### 教育訓練給付制度(申請中)

教育訓練給付金は、社会人の主体的な能力開発の支援を目的とした雇用保険からの給付制度で、指定講座を終了し申請を行った方に対して、10万円を上限とした給付金がハローワークより支給されます。利用に関する詳細については、入試広報室へお問い合わせください。



## キャリアアップ支援

高度な専門的職業人を養成する松本大学大学院健康科学研究科では、学識の深化や社会における実践力の養成を目的とした様々な学生の活動を積極的に支援しています。

院生への長期インターンシップ制度の導入や、社会人院生に対する基礎的研究能力の開発、リカレント教育の充実など、個々の課題解決に向き合う取り組みがその一例です。

より特徴のある大学院を目指し、今後さらなる充実を目指しています。

### 留学支援

大学院を1年間休学しての留学も可能です。

### 長期インターンシップ

長期インターンシップで自分の課題と向き合えます。

### 高等教育機関への就職支援

得た知識を活かして、他大学への就職はもちろん、研究を続ける方も。



# 学生募集要項はWEBで ご確認ください

※冊子の募集要項(願書)はありません。

松本大学入試情報

[www.matsumoto-u.ac.jp/admissions](http://www.matsumoto-u.ac.jp/admissions)

- 願書取り寄せ不要
- 入力簡単
- 受験料支払いが24時間可能



学校法人松商学園

# 松本大学・松商短大

〒390-1295 長野県松本市新村2095-1 ☎0120-507-200 Email kouhou@t.matsuo.ac.jp

[www.matsumoto-u.ac.jp](http://www.matsumoto-u.ac.jp)

- 大学院
- 総合経営学部
- 人間健康学部
- 教育学部
- 松商短期大学部

健康科学研究科 [博士前期課程・博士後期課程]  
総合経営学科/観光ホスピタリティ学科  
健康栄養学科/スポーツ健康学科  
学校教育学科  
商学科/経営情報学科